

## 「下工 弁慶号」を応援する会 趣意書

「下工 弁慶号」が誕生し、今年がちょうど一〇〇年になりました。この一〇〇年間には、幾多の変遷がありました。この区切りの年に「下工 弁慶号」は、又新しいページを加えようとしています。

三重県桑名市の軽便鉄道「北勢線」の終着駅の阿下喜に三年前に貸し出され、地元の有志により完全修復され当地で大きな話題となるとともに大活躍しました。この完全修復された「下工 弁慶号」が、今年四月に再び下松市に帰ってきました。帰るとすぐ東京都墨田区にある「江戸東京博物館」から「大鉄道博覧会」への展示依頼があり、今年七月十日から九月九日まで、展示・公開されることになりました。「下工 弁慶号」は、今や下松市、山口県だけの財産ではなく、全国から注目される文化遺産でもあると確信しています。

さて、この文化遺産が末永く愛され続けることを願う有志により、『下工 弁慶号』を応援する会』を立ち上げ、影ながら応援して行こうと決意しました。会としては、「下工 弁慶号」の資料の収集と保存、「下工 弁慶号」のPR・ホームページ作成、「下工 弁慶号」のキャラクタ―・切手・CD・DVDなどの作成・販売、収益金の下松市役所への寄付、「下工 弁慶号」のイベントへの参加、会員への連絡・資料の提供等々の活動を行いたいと思います。会の趣旨に賛同される会員を広く募集するしだいです。

平成十九年六月十六日

発起人	鈴木 基彦	(山口県立下松工業高等学校 前校長)
"	竹中 清	(山口県立下松工業高等学校 元校長)
"	野田 泰典	(山口県立下松工業高等学校 同窓会長)
"	石田 和久	(山口県立下松工業高等学校 同窓生)
"	池田 隆志	(下松市在住「舞台演出家」)

## 会の運営費

寄付、収益金 (会費徴収なし)